

# 2020年度 事業報告

自 2020年 4月 1日  
至 2021年 3月 31日

一般財団法人 日本財団ボランティアサポートセンター

## 目 次

<b>I 法人の概況</b>	
1. 設立年月日	1
2. 定款に定める目的	1
3. 定款に定める事業内容	1
4. 所在地	1
5. 役員に関する事項	1
6. 評議員に関する事項	2
<b>II 役員会等実施状況</b>	
1. 理事会	2
2. 評議員会	3
<b>III 事業の実施状況</b>	
【1】 ボランティア育成事業	3
1. ボランティアの共通研修プログラムのコンテンツ作成及び講師の育成	3
2. ボランティアリーダーの研修プログラムのコンテンツ作成及び講師の育成	3
3. その他	3
【2】 気運醸成事業	4
1. 企業連携プログラムの実施	4
2. 自治体連携プログラムの実施	4
3. ボランティア気運の醸成に向けたイベント及び広報等の実施	4
【3】 調査研究事業	5
【4】 ボランティア文化醸成事業	5
2020年度事業報告 附属明細書	6

## 2020年度 事業報告

### I 法人の概況

#### 1. 設立年月日

2017年 9月 29日

#### 2. 定款に定める目的

当財団は、日常の市民活動に立脚したより暮らし良い社会の形成を目指し、スポーツをはじめとする様々な分野で活躍するボランティアの育成支援を通じて我が国のボランティア文化の醸成を図ることにより、誰もが幸福で豊かな生活を営める共生社会の実現に寄与することを目的とする。

#### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 第32回オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会(以下、総称して「大会」という。)のボランティア運営に係る共通研修プログラムのコンテンツ作成及び講師の育成
- (2) 大会のボランティア運営に係るリーダー研修プログラムのコンテンツ作成及び講師の育成
- (3) 大会のボランティア募集に係る選考面接官の育成
- (4) 大会のボランティア気運の醸成に向けた各種イベント等の開催
- (5) スポーツを含む様々なボランティア活動への参画と市民活動団体等の発展を支援するための事業
- (6) その他当財団の目的を達成するために必要な事業

#### 4. 所在地

東京都港区赤坂1丁目2-2 日本財団ビル3階

#### 5. 役員に関する事項

役職名	氏名	略歴
理事長	渡邊 一利	笹川スポーツ財団 理事長
常務理事	小澤 直	日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事
常務理事	中島 光	日本スポーツボランティアネットワーク 理事
理事	菅原 悟志	ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 理事長
理事	田口 亜希	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 アスリート委員
監事	安楽 恒樹	税理士

## 6. 評議員に関する事項

氏名	現職	任期開始	任期満了
尾形 武寿	日本財団 理事長	2017年9月29日	2021年の定時評議員会の終結時まで
古川 秀雄	全国モーターボート競走施行者協議会 専務理事	2017年9月29日	2021年の定時評議員会の終結時まで
山脇 康	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 副会長	2017年9月29日	2021年の定時評議員会の終結時まで

## II 役員会等実施状況

### 1. 理事会

①一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第95条第3項に基づく理事会(書面決議)

ア. 開催日時:2020年6月15日(月)

イ. 決議事項

第1号議案 2019年度 事業報告 承認の件

第2号議案 2019年度 決算書類 承認の件

第3号議案 決議の省略による定時評議員会について

・評議員会の目的である事項の提案について

②第10回理事会

ア. 開催日時:2020年10月26日(月) 午後13時30分

イ. 開催場所:日本財団ビル3階会議室

ウ. 決議事項

第1号議案 2020年度 収支予算書補正の件

第2号議案 2021年度 助成金交付申請の件

第3号議案 「評議員選定委員会運営規程」「在宅勤務規程」制定の件

第4号議案 「職員就業規則」改定の件

エ. 報告事項

報告事項1 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況について

報告事項2 都市ボランティア感染症予防対策研究会について

報告事項3 公式ホームページ新規コンテンツについて

③第11回理事会

ア. 開催日時:2021年3月16日(火) 午前10時

イ. 開催場所:日本財団ビル3階会議室

ウ. 決議事項

第1号議案 2021年度 事業計画書並びに収支予算書 承認の件

第2号議案 評議員選定委員会 委員5名 選任の件

エ. 報告事項

報告事項1 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況について

報告事項2 「視覚障害者のボランティア参加 実践報告会」について

報告事項3 「ボラサポセミナー2021」について

## 2. 評議員会

①一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第60条第4項第1号に基づく評議員会(書面決議)

ア. 開催日時:2020年6月23日(火)

イ. 決議事項

第1号議案 2019年度 決算書類 承認の件

第2号議案 定款変更 承認の件

ウ. 報告事項

報告事項1 2019年度 事業報告

## III 事業の実施状況

### 【1】 ボランティア育成事業

#### 1. ボランティアの共通研修プログラムのコンテンツ作成及び講師の育成

①東京2020大会の延期に伴い、eラーニングの受講管理プラットフォームのField Cast(大会ボランティア)への提供期間を延長した。

②Field Castの各役割についてのインタビュー記事(全11回)を作成し、上記プラットフォームにて配信した。

③「ボランティア教育・研修プログラム検討委員会」に付随する作業部会を計2回開催し、「Field Cast Support Guide」について、内容の検討を行った。

④Field Castの基本行動をまとめた新型コロナウイルス感染症対策リーフレット(日本語版、英語版)を作成し、上記プラットフォームにて配信した。

#### 2. ボランティアリーダーの研修プログラムのコンテンツ作成及び講師の育成

①作業部会を計19回開催し、リーダーシップ研修プログラム(集合研修、テキスト、eラーニング)を作成した。

②オンライン研修を開催し、270名の講師を育成した。

#### 3. その他

①ボランティア向け研修等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを作成した。

②東京2020大会関連ボランティアを対象にしたオンラインイベント「Tokyo Volun

teer 2020 ボラサポフェス ～動かせ。世界中の気持ちを～」を開催し、3,350名の参加があった。

## 【2】 気運醸成事業

### 1. 企業連携プログラムの実施

- ①東京2020大会のスポンサー企業を対象に、計3回のオンライン交流会を開催した。
- ②東京2020大会のスポンサー企業9社の社内研修をサポートした。
- ③東京2020大会のスポンサー企業(34社1,774名)を対象に、独自研修「エンゲージメント・プログラム」として、14種類の研修プログラムと、2回のボランティア機会を提供した。
- ④NHKエデュケーショナルとタイアップし、「英会話タイムトライアル TOKYO VOLUNTEER 2020 特別編」を作成し、申込者11,412名に配布した。
- ⑤広くボランティアに関心のある方々を対象に「ボラサポセミナー2021」を開講し、6種類のオンライン研修に、4,795名の参加があった。

### 2. 自治体連携プログラムの実施

- ①東京2020大会の開催自治体と、計5回のオンライン意見交換会を開催した。
- ②東京2020大会の延期に伴い、開催自治体(10自治体)との連携協定を延長し、イベントへの協力やリーダーシップ研修への講師派遣を行った。
- ③札幌市、宮城県、福島県、千葉県のみならず、City Cast(都市ボランティア)を対象としたオンライン交流会を4回開催し、242名の参加があった。
- ④全国のCity Castを対象としたオンライン交流会を4回開催し、627名の参加があった。
- ⑤City Cast自身が講師となって、オンラインで学び合う「みんなの都市ボラ大学」を開講し、計3回で3,071名の参加があった。
- ⑥全国のCity Castを対象に、3種類のオンライン研修を開催し、935名の参加があった。
- ⑦「東京2020大会都市ボランティア感染症予防対策研究会」を立ち上げ、研究会を全6回開催し、研究会での議論を提言としてまとめ、メディアに発表した。

### 3. ボランティア気運の醸成に向けたイベント及び広報等の実施

- ①ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを運営し、情報発信を行った。
- ②広報活動を行い、新聞63件、WEBメディア398件、テレビニュース8件、ラジオ2件、プレスリリース38件、ホームページ789,933PVの露出があった。
- ③Field Cast、City Cast以外の、聖火リレーやホストタウン、事前キャンプ等のボランティアの募集状況をまとめた特設ページ「ボランティアガイド 東京2020 関連ボランティア情報編」に、244件のボランティア情報を掲載した。
- ④動画で楽しく手話を学ぶ「ボランティアガイド お笑い手話劇場(落語編、男組編、夫婦漫才編)」を作成し、ホームページに掲載した。
- ⑤「英会話タイムトライアル TOKYO VOLUNTEER 2020 特別編」の特設ページを

作成し、音声教材を掲載した。

- ⑥コロナ禍におけるボランティアの心構えや障害当事者の抱える悩みや想いをまとめた「ボランティアガイド withコロナ編」を作成し、ホームページに掲載した。
- ⑦Airbnbとタイアップし、ホームステイ情報をまとめた「ボランティアガイド ホームステイ(宿泊)編」を作成し、ホームページに掲載した。
- ⑧Wovn Technologiesとタイアップし、ホームページの多言語化を行った。
- ⑨メールマガジンの運営を開始し、111件の配信を行った。

### 【3】 調査研究事業

- ①City Cast(6自治体5,702名)を対象にアンケート調査を実施し、調査結果をメディアへ公表した。
- ②東京2020大会関連ボランティア(4,817名)と一般モニター(3,000名)との比較調査を実施した。
- ③東京2020大会のスポンサー企業の社員ボランティア(9社1,197名)を対象に、アンケート調査を実施した。
- ④「視覚障害者のボランティア参加 実践報告会」をオンラインで開催し、313名の参加があった。併せて、視覚障害者がボランティアとして活躍するための配慮や工夫をまとめた報告書も公開した。

### 【4】 ボランティア文化醸成事業

- ①新規事業開発のために、ボランティアに関連する様々なステークホルダー(企業、大学、NPO等)へのヒアリングを実施した。
- ②日本財団からの委託を受け、令和2年7月豪雨災害における被災地支援活動のコーディネートを実施した。

## 2020年度事業報告 附属明細書

2020年度事業報告には、「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021年5月

一般財団法人

日本財団ボランティアサポートセンター